

平成7年5月10日第3種郵便物承認 令和7年4月20日発行(毎月20日25日30日発行) O D A通巻 第1615号

# ODA

はっこう しゃかいふくしほうじん おきなわけんしんたいじょうがいしゃふくしきょうかい へんしゅう ほくぶじりつせいかつせんたー きらら  
発行:社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会/編集:北部自立生活センター 希輝々  
おきなわけんなごしおのみなみ はんか えん かいひ ふく  
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1/価額100円(会費に含む)  
TEL/FAX:0980-54-1559 e-mail:kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶじりつせいかつせんたー きらら  
**北部自立生活センター希輝々**

## やんばらあ~ねっと

2025年4月59号



## もくじ

## やんばらぁ～ねっと 第59号

- ピ- P 2 もくじ  
ピ- P 3~P 5 ピア・カウンセリング集中講座  
ピ- P 6~P 7 ダスキン海外研修生受け入れ  
ピ- P 8~P 9 JICA沖縄コロンビア研修生受け入れ  
ピ- P 10~P 11 「鈴音が行くin沖縄」  
ピ- P 12 スタッフのひとりごと／希輝々の所在地案内／  
正会員、賛助会員の入会について



じゃいか  
JICAのみなさんと集合写真  
しゅうごうしゃしん

## ピア・カウンセリング集中講座

さ  
去了った 1月22日(水曜日) 13時から 3日間の日程でピア・カウンセリング  
しゅうちゅうこうざ  
集中講座を、名護市の21世紀森体育館ミーティングルームにて赤い羽根  
きょうどうばきん  
共同募金から助成金を頂き開催することができました。

リーダーは、自立生活センター富士の望月さんと静岡障害者自立生活センター  
おおかわ  
の大川さん、当センターの新垣で行いました。

ピア・カウンセリング集中講座は、同じ背景(経験)を持つもの同士が、平等かつ  
じかん たいとう つか  
時間を作等に使ってお互いの話を聞きあい、自分の気持ちを考え本来の  
も  
持っている力を取り戻すことが目的です。

参加人数は5名で少人数でしたが久しぶりに会う方や初めて会った方もいて  
しんせん かん  
新鮮な感じがしました。



かめ ゆうがた こうりゅうかい すし びざ た  
2日目の夕方からは交流会で寿司やピザを食べながらおしゃべりをしたり、  
びんごゲームをして盛り上りました(#^.^#)  
みんながbingoゲーム楽しかったと言ってくれたことが嬉しかったです。



ちーず  
みんなではいチーズ👉 (#^.^#)

かめ にゅーあんどぐっず  
3日目はニュー & グッズをやったあとにアプライシエーションをやりました。  
あぱりしえーしょん かんしゃ みど  
アプライシエーションとは、感謝や認めることなどの意味があり相手を褒めて、  
じぶん ほ ふだん せいかつ なか かん  
自分を褒めることで普段の生活の中では感じることの少ない口に出して褒め  
きも かん  
あう気持ちを感じることです。みんなにとっても心地良い空間だったと思います。  
かかん ふ かえ せっしょん  
3日間を振り返ってみると、セッションをたくさん行うことでみんなのことを理解  
じぶんじしん ほんらいも ちから きづ  
すること、自分自身が本来持っている力に気付くことができた集中講座でした。  
さんか おこな  
しゃうちゅうこうざ  
参加してくれたみなさんありがとうございました。



いかさんかしゃこめんと  
以下は、参加者のコメントになります。

- ・たくさんの人とセッションすることができ有意義な時間になった。また複数回受講はしますが、受講するたび新しい仲間や発見があるため嬉しい。
- ・3日目は、ほめほめタイムが印象に残っている。クライエント側は、照れて恥ずかしくてでも嬉しかった。そして、他人から自分がどんなふうに見られているか知れる機会になった。一方で、カウンセラー側になるとなにをほめていいか分からなかつた。当たり障りのないことが多かったと思うが、私がほめたことで笑顔になってくれたのは嬉しかつた。
- ・また、言葉を増やそうと思った。自分に向き合う時間は、苦しくて恥ずかしいけど、楽しくもあり不思議な時間だった。
- ・久しぶりの、ピア・カンに参加して、リーダーのはやみさんやもちづきさん、まさきさんといろいろとはなすことができて、よかったです。
- ・参加者のかたがたともはなすことができよかったです。
- ・みんなが僕の話をちゃんと聞いてくれたことがとてもうれしかつたです。それから、お寿司bingoゲームで僕が玉子と言つたので、チームが優勝してとても楽しかつたです。

## だすきんかいがいけんしゅうせいうい ダスキン海外研修生受け入れ

2月9日～16日までの期間ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業

24期生のラクシミさんが当センターに研修に来ました。

研修期間中は、障害者の自立生活や障害に関する日本の制度について一緒に意見交換をおこないました。

また、名護市の就労継続支援B型事業所ぬぶいでーだに訪問させていただき養鶏場の見学や利用者のみなさんと交流することができてよかったです。



たくさんのがくに少しひっくり  
している様子のラクシミさん!

う産みたての卵に触れる

きちょうたいけんらくしみ貴重な体験をしたラクシミさん



えがお しゅうごうしゃしん  
みんな笑顔の集合写真(#^.^#)

たなごしこきょうこうつうきかん はくぶつかん い けんがく  
その他、名護市の公共交通機関を使って博物館まで行って見学もしました。  
しゅうかん みじか きかん にほん ねばーる ぶんか しょうがい かん せいど  
1週間という短い期間でしたが、日本とネパールの文化や障害に関する制度  
ちが まな の違いについて学ぶことができてよかったです。  
らくしみ けんしゅうきかん なが おも からだ き がんば くだ  
ラクシミさん研修期間は長いと思いますが、身体に気をつけて頑張って下さい。  
ばい  
byふーぶ

## じやいかおきなわころんびあけんしゅうせいうい JICA沖縄コロンビア研修生受け入れ

き　　ねん　がつ　にち　　がつ　にち　　やく　　げつかん　じやいかおきなわ　つう　　ころんびあ　めい  
去った2025年2月19日から3月13日までの約1か月間、JICA沖縄を通じてコロンビアから10名の  
けんしゅうせい　らいにち　　いちぶ　につい　とうせんた一　きらら　ほうもん　こんかい  
研修生が来日しました。そのうち一部の日程で当センター・希輝々に訪問してくれました。今回は、  
せんた一　かつどうしようかい　じりつせいかつぶろぐらむ　ぴあ　かうんせりんぐ　こうきょうこうつう　こ  
センターの活動紹介をはじめ、自立生活プログラムやピア・カウンセリング、公共交通、子どもたちと  
こうりゆう　ふいーるどとりっぷ　かつどう　しょうかい　いただ  
の交流、フィールドトリップなど、さまざまな活動を紹介させて頂きました。

げんざい　せんた一　しゆくはくたいけん　ちてきしうがい　かた　じれい　つう　せいど  
また、現在センターで宿泊体験をしている知的障害のある方の事例を通じて、どのような制度を  
かつよう　とうじしゃ　かいじょしゃ　こみゅにけーしょん　と　かいじょ　おこな  
活用し、当事者と介助者がどのようにコミュニケーションを取りながら介助を行っているのか、そして  
おやな　あと　みす　とうじしゃ　かぞく　とく　つた　いただ  
「親亡き後」を見据えた当事者とその家族の取り組みについてもお伝えさせて頂きました。

こんかい　けんしゅう　つう　わたじじしん　きちょう　まな　とく　しーあいえる　い　る　か　ながい  
今回の研修を通じて、私自身もたくさんの貴重な学びがありました。特に、C I Lイルカの長位さ  
んからは、生まれてから自立生活センター設立の頃、障害のある人もない人も共に暮らしやすい  
しゃかい　じょうれい　げんざい　いた　じんせい　じしん　せいかつ　こと　にほん　しょうがいしゃうんどう　れきし  
社会づくり条例、そして現在に至るまでの人生や自身の生活の事、日本の障害者運動の歴史や  
しゃかい　してん　まな　ほんとう　かんめい　う  
社会づくりの視点を学ばせてもらいました。本当にかけがえのないもので感銘を受けました。

けんしゅう　す　む　一　す　す　さき　つうやく　い　の　は　たましろ　こころ  
そして、研修をスムーズに進めるために支えてくださった通訳の伊野波さん、玉城さんにも、心より  
れい　もう  
お礼を申し上げます。

ころんびあ　げんじょう　きび　うかが　ひとり　ちから　ちい  
コロンビアの現状はまだまだ厳しいものがあると伺っています。しかし、一人ひとりの力は小さくて  
も、それが集まれば大きな力となり、社会を動かす力になります。そのためには、仲間を増やし、  
めでいあ　かつよう　りかい　ひろ　おお　ひと　きょうかん　たいせつ  
メディアを活用して理解を広げ、多くの人に共感してもらうことが大切です。

けんしゅうせい　みな　おきなわ　まな　い　ちいき　あたら　あくしょん　お  
研修生の皆さんのが、沖縄で学んだことを活かして、それぞれの地域で新しいアクションを起こし、  
しゃかい　か　そんさい　こころ　ねが　けんしゅう　だいいっぽ　うれ  
社会を変える存在になってくれることを心から願っています。この研修が、その第一歩になれば嬉しいです。そして、ここで生まれたつながりが未来へと続していくことを願っています。

## 介助を受ける側、提供する側両方の気持ちを理解するための介助実習の様子。

### ・食事介助の様子



### ・ベッドから車いすへの移乗体験



### ・自立生活する体験室を見学



## 「鈴音が行くIN沖縄 名護 合理的配慮」を開催

去る2025年3月12日(水)、名護市21世紀の森体育館にて「鈴音が行くIN沖縄 名護 合理的配慮」を無事に開催することができました。限られた時間の中で、参加者の皆さんと共に学び、考える貴重な機会となりました。

ステップえどがわの鈴音さんやスタッフ様、JIL(全国自立生活センター協議会)事務局様、そしてキリン財団様に心より感謝申し上げます。皆さまのご協力があつてこそ、本イベントは大変充実したものとなりました。

多くの方々と合理的配慮について深く学び、考えることができました。

イベント運営における多大なサポートをいただきました。皆さまの支援のおかげでスムーズに進行することができました。改めて感謝申し上げます。

また、イベント当日には、要約筆記の皆さまや手話通訳の皆さまが、誰もが情報にアクセスできる環境をつくるために尽力してくださいました。

- 要約筆記の方々は、講演やディスカッションの内容をリアルタイムで文字化し、音の情報を視覚的に届けてくださいました。
- 手話通訳の方々は、言葉を手話に変えて伝え、聴覚障害のある参加者の方々と話し手をつないでくださいました。

皆さまのご協力により、障害の有無にかかわらず、すべての参加者が学び合える場を実現できたことを嬉しく思います。

今回のイベントには、障害のある方や支援者だけでなく、地域の方々や関心を持ってくださった方など、さまざま立場の方々が参加してくださいました。それぞれの視点からの意見や気づきが交わされ、多様な視点で合理的配慮を考えることができたのは、大きな収穫でした。

また、「障害とは何か?」という根本的なテーマについても改めて考える機会となりました。医学モデルでは障害を個人の問題と捉えますが、社会モデルでは社会の側にあるバリアこそが障害であると考えます。社会の環境や意識を変えていくことが、誰もが生きやすい社会につながるということを、改めて実感しました。

さらに、合理的配慮の大切さについても深く学ぶ機会となりました。合理的配慮は、障害のある人が生活する場面や社会参加の場面に応じて異なるため、必要な配慮を伝えることが重要です。

たと  
例えれば、

- 視覚障害のある方には、情報を音声や触覚で伝える工夫
  - 聴覚障害のある方には、筆談や手話通訳などの情報保障
  - 発達障害のある方には、安心して過ごせる環境づくり
- といった配慮が求められます。

しかし、こうした配慮を受けるためには、「どんなサポートが必要か」を行き先や日常生活の場面で伝えることが重要です。合理的配慮は一律ではなく、状況によって異なるため、お互いにコミュニケーションをとりながら、その場に合った配慮と一緒に考えていくことが求められます。

イベントを通して、

「もしかしたら、この場に聴覚障害のある人がいるかもしれない」「もしかしたら、情報を視覚的に伝えたほうがいいかもしれない」という視点を持つことの大切さを改めて感じました。

そして、今回の「鈴音が行くIN沖縄 名護 合理的配慮」は、全国各地で開催される「鈴音が行く」シリーズの一環でもあります。鈴音さんは全国18カ所でこのイベントを開催する予定とのことで、多くの地域で合理的配慮について考える機会が広がっていくことを嬉しく思います。

「鈴音が行くIN  
沖縄 名護  
合理的配慮」

をきっかけに、  
今後も地域や  
職場、日常  
生活の中でど

のような  
合理的配慮が

できるのかを  
考え続けてい  
きたいと思

ます。そして、

誰もが安心して参加できる場を一緒につくりたいです。改めて、ご参加いただいた皆さん、  
支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました！



こんにちは

2度目の独り言が回ってきました野邊です

沖縄も寒い季節になりました。

1月下旬 桜の花が咲いてホッとした気持ちに

なります。

桜も綺麗ですが私はハイビスカスが好きです

今年は色々な事にチャレンジしてみようかと思つてます(\*^\_^\*)



## 北部自立生活センター 希輝々の所在地案内

〒 905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32(1階)  
TEL/FAX 0980-54-1559  
E-mail kirara20030501@yahoo.co.jp

CIL希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。

当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の趣旨にご

賛同いただき、ご協力をお願ひいたします。

正会員 新規会員 入会金2,000円(入会時のみ) + 年会費3,000円

= 計5,000円

既会員 3,000円(年会費のみ)

賛助会員 個人 一口5,000円

団体 大口10,000円

寄付金は隨時受け付けております。

皆様の温かいお志とご協力をお願ひいたします。

●振込先 沖縄海邦銀行 名護支店 店番 060(普通預金) 0621092

●名義 北部自立生活センター希輝々

